

マルタ島のユダヤ人 (1)

クリストファー・マーロー作
熊崎久子訳

登場人物

ファーニーズ マルタ島の総督
ロドウィック 総督の息子
シーリム・カリマス トルコ皇帝の皇子
マーチン・デル・ポスコ スペインの副総督
マサイアス
バラバス マルタ島のユダヤ人
イサモア バラバスの奴隷
ジャコモ } 修道士
バーナダイン }
ピリア・ボーツァ 壮士

二人の商人

三人のユダヤ人

騎士たち, 将軍たち, 役人たち, 衛兵, 奴隷たち, 使者および大工たち。

キャサリン マサイアスの母

アビゲイル バラバスの娘

ベラミラ 娼婦

尼僧院長

尼僧

マキャヴェリ, 前口上役。

場 所
マルタ島

宮廷における前口上

仁慈あふれるお偉い方々、恐れ多いことではございますが
昨今もてはやされております芝居のなかから
この芝居をお目にかけてたいと存じます。何年も前に書かれたものではあり
ますが

当時におきましては無類の評判になったものでございます。
御寛容のほど伏してお願い申し上げます。お目にかけますのは 5
マルタ島に住んでおりました金持ちで、有名な
一ユダヤ人の物語。彼の奸計のすべてを御覧になれば
皆々様もお気づきになりましょうが、彼こそ正真正銘のマキァヴェリ。
それこそが彼の役柄。世のさまざまな批判を受けてまいりました
この男が、遂にこの度は皆々様の高貴なお耳を汚すことになりました。 10
御厚情を賜りたく願ひ申し上げます。さすればこの上演は
大成功、作者もその名を高めましょう。

宮廷における納め口上

畏れながら陛下に申し上げます。我々はこの上演が
あまりにも御退屈なものではなかったかと恐れております。
高貴な方々の御辛抱を損ねますようなことは罪を犯すも同様、
もしそうでありましたならこのように身を低くいたしまして
お許しを願うばかりでございます。
また仮に皆様方のお耳やお目の妨げとなるようなことがございまし 5
ても、我々はただ他人の書きましたものを演じ、且つ、語ったままで
ございます。

舞台への前口上

コックピット座において

我々はこの芝居が当舞台におきましてどのような仕儀になりますかは存
じません。

しかしながら、当時における最高の詩人によりまして

『マルタ島のユダヤ人』が生命を得、作り上げられたのです。

そして 名優の誉れ高い役者がこれを演じたのです。

一方は、『ヒーローとリアンダー』におきまして不朽の

5

名声を得、他方は、『タンバレイン』におきまして、また、

この『ユダヤ人』におきまして、その他の多くの役におきまして
比類のない名声を勝ち得たのです。

変幻自在の姿はプロテウス、巧みな弁舌はロスキウスに比肩し

——どちらをも傷付けることにはなりません——そのように

10

彼は語り、そのように姿を変えたのです。

また、本日我らがユダヤ人を演じます役者の力量を認めますのに

やぶさかではありません。また彼には先輩を凌駕し、或は肩を

並べようなどという野心はありません。きわめて控え目な

性格の持ち主ですから。彼の意図しておりますのはせいぜい

15

こんなところ——それもまた2、3の友人たちの執拗さに

よるものですが——自己の最善をつくし、かつまたどなた様からも

反駁がなければ、これ迄研鑽に努めてまいりました役割を演じ

ようと考えているのです。

舞台への納め口上

コックピット座において

彫刻におきましてはピグマリオンと競い、

絵画におきましてはアペレスと張り合いますなら、結局は名誉を

汚すことは疑いを入れません。我らの役者はそのようなことはいたしま

せんでした。

彼はひたすら演じようとしただけのこと、他を引き離そうなどとはしま

せんでした。

また、本日の演技によりいかなる賞をも得ようなどとは考えもしません

でした。

5

ここにはいかなる賭け金もおかれず、いかなる賭もなされませんでした。

彼の心に満ち満ちている野心と申しますのは

皆様方より 上出来だった とのお言葉をいただくことのみでございます。

プロローグ

マキアヴェリ登場

マキアヴェリ 世間ではマキアヴェリは死んだと思っているが、
 魂がアルプスの彼方へ飛んで行っただけのこと、
 さて、ギーズも死んでしまったことであるから、フランスからやって
 来て
 この国を見物し、友人たちと陽気に騒ごうというわけさ。
 ある連中にとってはこの私の名は嘔吐を催させることだろう。 5
 だが私を好いてくれる連中は彼らの毒舌から私を庇って、
 私がマキアヴェリであり、人間のことなぞ、したがって人間
 の言葉なぞ意に介したりはしない、と知らせてくれるのだ。
 私は私を最も忌み嫌う連中から崇拜されているのだ。
 あからさまに私の本に反駁する連中もいるが、 10
 みんなが私の本を読み、そのお陰で
 ローマ教皇の座に就いたりする、そして私をほうり出そうと
 すれば、よじ登って来る私の弟子どもに毒を盛られることになるのだ。
 私は宗教なんて子供の玩具としか思っていないし、
 無知の他に罪はないと考えている。 15
 空飛ぶ鳥が過去に犯された殺人の話をするかも知ろうが、
 私はそんな馬鹿気た話を耳にするのも恥ずかしい。
 多くの輩が王座への資格だのと語っているが、
 シーザーは帝国に対していかなる権利を持っていたというのだ？
 最初に力が王をつくり、法はドレイコのように 血をもって 20
 書かれた時に 最も確かなものとなるのだ。
 それ故 堅固に構築された城塞は文字が表すより遙かに
 大きな覇権を持つというものだ。
 ファラリスもこの金言を守っていさえすれば、
 多くの人々の恨みを買って、真鍮の牛像に投げ込まれ 25
 吠え哮ることもなかったろうに。哀れな小人どもに
 憎まれようとも 哀れんでなんかもらうものか。
 ところで 一体どこへいくつもりだったのだ？ 私は、私は

この英国で説教するためにやって来たのじゃない。
 私のやりかたでなけりゃ手に入らない金が
 金袋にぎっしり詰まってるのを見てほくそ笑んでいる
 一ユダヤ人の悲劇を演じるためにやって来たのだ。
 これだけをお願いしたい。彼のことは彼にふさわしく
 お引き立てくださるように。彼が私に似ているからとて不当に
 遇されたりなさいませんように。
 [退場]

30

第一幕. 第一場

金貨の山を前に帳場の中にバラバス登場

バラバス　それだと、あれからはこれだけの利益が上がったのか、
 ペルシャ船の三番目の分には
 投機の計算も済ませたし、支払ってももらった。
 わしのスペインの油やギリシャのワインを買ったあのサムナイト
 人やアズ人についちゃあ、
 奴らのけちな銀貨はここに貰ってある。
 ええい、こんなはした金、数えるのも厄介だ！
 アラビア人よ、御機嫌よろしく、取り引きの品には
 金塊でたっぷり支払ってくれるから
 一生暮らせるだけの金を
 一日で苦もなく数えられる。
 一グロートの金にも手を触れたことのない貧乏な奴らには
 これほどの大金は神わざとも思えることだろう。
 鉄棒の金庫一杯に金を詰め込んで、
 指先がへとへとになるまで
 一生を金勘定に費やしてきた人間にとっちゃあ
 もうこんな仕事は真っ平だ、
 たかが一ポンドのために死ぬほど汗を流すなんて。
 混じりっけなしの地金で商いをする
 インドの鉾山の商人や、東方の岩山で

5

10

15

20

勝手気ままにお宝を拾いあげ、
 家の中には小石のような真珠を積み上げ、
 無料で貰^{ただ}って目方で売っている
 金持ちのムーア人をわしに与えてくれ。
 袋一杯の燃えるようなオパール、サファイア、アメジスト、 25
 ヒアシンス、硬いトパーズ、草緑色のエメラルド、
 美しいルビー、きらめくダイヤモンド、
 滅多にお目にかかれない高価な宝石、
 どのひとつだって掛け値なしに見積もって、
 この一カラットほどのものだって 30
 苦境に陥っている王侯たちを
 虜囚の身から救い出す役にも立とうというものだ——
 これがわしの財産の入っているいれものだ。
 分別のある人間ならお定まりの商売なんか
 止めちまったらいいと思うね。 35
 富が増えるにつれて、入ってくるのは
 ちっちゃな部屋に無限の財宝ってわけだ。
 だが、今風向きはどうなっているかな？
 わしのかわせみの嘴はどっちを見ているかな？
 ほう！ 東の方か？ よし、風見はどっちを向いているかな？ 40
 東南か、それなら
 エジプトやその周辺にわしが送った船は
 曲がりくねったナイルの岸辺に着いているだろうな。
 香料や絹を積み込んだアレキサンドリアからの
 わしの大商船団は、今頃は帆を上げて 45
 わしらの地中海を通過し、マルタ島に向けて
 クレタ島の岸辺を滑るように進んでいることだろう。
 だが、誰だ、そこに来たのは？

—商人登場

どうしたんだ？

商人 バラバスさん、あなたの船は大丈夫です。

マルタ島に停泊しています。商人たちもみな
他の商品と一緒に無事に着きました。 50

それで、あなたのご自身でおいでになり、関税を払って
下さるかどうか、伺って来いと言われて来たのです。

バラバス 船は無事だと言うんだな、荷はたっぷり積んで
あるだろうな？

商人 そのとおりです。

バラバス それなら上陸して、 55
通関手続きの書類をもって来いと言ってくれ。
税関でのわしらの信用はわしが顔を出すのも
同然だと思いたいね。

ラクダ 60 頭、 ラバ 30 頭、
20 台の荷馬車をやって品物を持って来い。 60
だが、お前はわしの船の船長だろう、
お前の信用でそれくらいのことができないのか？

商人 税関の支払いだけでも
この町の大勢の商人たちの財産を上回るのです。
だから、私の信用なんてものを遙かに上回ってしまうんです。 65

バラバス 行って言ってやれ、マルタ島のユダヤ人がお前を
よこしたのだと。

ちえっ、奴らのなかで誰がこのバラバスを知らないと言うのだ？

商人 行ってまいります。

バラバス それじゃ、いくらか入ったんだな、
おい、お前はどの船の船長だ？

商人 スペランザ号のです。

バラバス それじゃ、アレキサンドリアにいた 70
わしの大商船団を見なかったか？
ナイル河が支流を海に注ぐ
その河口を通らずには

エジプトからもカイロからも来ることはできない。
アレキサンドリアの近くを是非とも通らにゃなるまい。 75

商人 そんな船のことは見たことも聞いたこともありません。
ですが、船乗りたちがこんなことを言っているのを聞きました、

あなたがあんなぼろ船によくもあれだけ仰山な財産を
お任せなされたと驚いていました、それもあんなに遠くまで。

バラバス　　ちえっ、お偉い方々だ！　わしはあの船のことは
知っているし、その力も知っている。

80

行け、行ってお前の仕事をしろ。積み荷をおろすんだ。
わしの代理人に荷物を取り込むように言ってくれ。

[商人退場]

しかし、あの大商船団はどうしたというのだ。

第二の商人登場

第二の商人　　アレキサンドリアからのあなたの大商船団が、
バラバスさん、マルタ島に入りました。

85

財宝とペルシャの絹、金、そして東洋の真珠など
とてつもない宝ものを積み込んでいますよ。

バラバス　　お前は どうしてエジプトの近くを通った
他の船と一緒に来なかったのだ？

第二の商人　　そんなものは見かけませんでしたよ。

バラバス　　そいつらは恐らく油とかその他の商売で
クレタ島の海岸を廻ったのだろう。

90

だが、そいつらの助けも案内もなしで、あんな遠くから
やって来るなんて、お前もまずいことをしたもんだ。

第二の商人　　私たちはスペインの艦隊に護衛してもらって
来たのです。その艦隊は一リーグ以内になるまでは我々から
離れませんでした。トルコのガリー船を追っていました。

95

バラバス　　おお、そいつらはシシリー島へ行くところ
だったんだ。行って、

商人たちや乗組員に急いで上陸し、積み荷を降ろすのを
見届けるように言ってくれ。

第二の商人　　行って参ります。

100

[退 場]

バラバス　　こうして陸から海からわしの財産が仰山に入り
込んで来る。

こうしてわしらはどこでもかしこでも富み栄えている。

これがユダヤ人に約束された天の恵みというものさ。

昔々のアブラハム様のお喜びもここにあったんだ。

大地の腸^{はらわた}を引き裂き、大海原を召し使いにし、

風には突風を吹かせて

ご都合よろしく財宝を運ばせて

こんな具合に膝の中にたっぷりつぎ込んでいただけりゃあ

地上の人間にとっちゃあ、これ以上のお恵みなんて

どこにあるんだ？

わしが幸福だという以外にわしを憎む奴がどこにいる？

今時財産を持っているという以外に尊敬される奴がどこにいる？

貧乏なキリスト教徒として哀れまれるよりは、

こんな風にユダヤ人として嫌われたほうがいいというもんだ。

悪意と嘘偽りと思い上がりの他にゃあ

奴らの信仰にはなんの御利益も見られやしないから。

そういったことは奴らの告白とはあわないように思うがね。

幸せなことに、不運な人間が良心とやらを持っていて

この良心のお陰で乞食のように暮らしている。

世間じゃあわしらを離散した民とっているが、

どうだか分かるものか、信心深いのを鼻にかけている連中より

わしらの方が遙かにたんまり富をかき集めているんだ。

ギリシャには偉大なユダヤ人、キラリア ジャイラムがいる。

ベアセスにはオベード、ポルトガルにはノーンズ、

マルタにはこの俺様、イタリアにも幾人かが、

フランスにも大勢いるが、みんな金持ちだ。

そうとも、どんなキリスト教徒よりも遙かに金持ちだ。

白状しなけりゃあなるまいが、わしらは王侯になるつもりで

来たわけじゃあない。

それはわしらの罪じゃあない。ああ！ わしらの数は少なすぎる、

それに、王冠ってものは世襲によるか、力で奪い取るか

どっちかなんだ、しょっちゅう聞くことだが、暴力なんてものは

永久に続くもんじゃない。

わしらには平和な統治をお与え下さい。キリスト教徒たちを

105

110

115

120

125

130

王様にしてやればいい、

あいつらは王様になりたくて飢え渴えているんだ。

わしにはなにも責任もないし、子供も多くはない、

娘がたった一人、その娘のことは、アガメムノンが

イフィゲネイアを愛したと同じくらい愛しくてならない。

わしのものは何もかもあの娘のものだ。

135

誰だ、そこに来たのは？

三人のユダヤ人登場

第一のユダヤ人　　ちえっ、馬鹿を言うな。そいつは策略^{ポリシイ}でしたんだ。

第二のユダヤ人　　さあ、だから、バラバスのところへ行ってみよう。

こういったことには彼の助言が一番だから。

ご本人が現れたぞ。

140

バラバス

やあ、どうしました、同胞諸君？

どうしてこうも大勢でわしのところへお集まりなのかな？

ユダヤ人に何か事件でも起きたのかね？

第一のユダヤ人　　バラバスさん、武装したガリー船の艦隊が

トルコからやって来て、この港に錨を降ろしたんだ。

それで、今日、役所の連中が会議所に集まって

トルコ軍やトルコの使節をもてなそうとしているんだ。

145

バラバス　　それなら、奴らを来させりゃあいい、戦争をしに

来たわけじゃないんなら。

でなきゃあ、戦争をさせりゃあいい、わしらが征服者になるっ

ていうんなら。

いや、やつらに戦わせ、勝たせ、みんな殺させればいい。

150

わしと、わしの娘と、わしの財産を残してくれるというんなら。

[傍白]

第一のユダヤ人　　同盟を強めるだけというなら

あんな風に武装してやって来るはずがない。

第二のユダヤ人　　我々みんなを苦しめるためにやって来たようだ。

バラバス　　馬鹿な連中だな、大挙してやって来たからといって

どうだというんだ？ 155

同盟国の人間が何の必要があって平和の話し合いをするんだ？

トルコ人とマルタの人間は同盟しているんだ。

ちえっ、ちえっ、なにか別のことだろうよ。

第一のユダヤ人　　バラバスさん、平和か戦争かのどっちかで
来たんだ。

バラバス　　多分、そのどっちでもないさ。ただアドリア海を
160 通ってヴェニスに向かう途中なんだ。

奴らは度々ヴェニスに戦争を仕掛けたが

計略が図に当たったためしがない。

第三のユダヤ人　　全くその通り、おっしゃるとおりだ。

第二のユダヤ人　　しかし元老院で集会があって
165

マルタ島のユダヤ人はみなそこへ行かなくてはならない。

バラバス　　ふーん、マルタ島のユダヤ人がみなそこへ
行かなくちゃならんのか。

そうか、ありそうなことだ。じゃあ、みんな準備して

形だけでも出掛けようじゃないか。

我々の身に關わることでも起こったら
170

心配しなざるな、わしが何とかする——わし自身のことだけは。

[傍白]

第一のユダヤ人　　して下さるのは分かっています。さあ、
皆さん、行きましょう。

第二のユダヤ人　　お暇しましょう。ご機嫌よう、バラバスさん。

バラバス　　それがいい。ご機嫌よう、ザーリスさん、ご機嫌よう、
テメントさん。

[ユダヤ人たち退場]

さて、バラバス、この秘密を探り出すんだ。
175

分別を呼び覚まし、知恵を集めろ。

あの馬鹿な連中は、問題を全く誤解している。

マルタ島は長い間トルコに貢を送ってきた。

その貢は——すべては政略^{ポリシイ}だったが——しかし

ひょっとすると、トルコはその貢をマルタ中の全財産でも
180 払い切れないほどの金額に吊り上げてしまったんだ。

それをうまく利用して、この町を奪おうとしているんだ。

そうだ。それを狙っているんだ。
 世間様がどうなろうと、わしだけは身の安全を図り、
 わしの持ち物を大事に守って
 時期を見て、最悪の事態だけは防ぎ止めよう。
 「余は常に余自身に最も関心を有す」だ。
 奴らに乗り込ませよう、奴らに町を乗っ取らせよう。

185

[退場]

第一幕. 第二場

マルタ島の総督、ファーニーズ、騎士、及び、役人たち登場、
 トルコの将軍たち、及び、カリマスと遭遇

ファーニーズ さて、将軍たち、あなたがたは我々に何を
 要求されるのですか？

第一の将軍 マルタ島の騎士の方々、我々はロードス島、キプロス島、
 クレタ島、及びその他の地中海に横たわる島々から参ったことを
 ご承知いただきたい。

ファーニーズ キプロス島、クレタ島、そして他の島々が我々にとって、 5
 またマルタ島にとって何だというのです？

あなたがたは我々に何を要求されるのです？

カリマス 未払いとなっている十年間の貢です。

ファーニーズ 何ですと、それは余りにも額が大き過ぎます。

殿下の御高配を願ひ上げます。

カリマス 信望厚き総督殿、私の力の及ぶ限りならお力になりたい。 10
 しかし、これは父の意向なのです。

それ故、軽はずみなことはできませんし、また、したくもないのです。

ファーニーズ それでは、我々に時間を下さい。偉大なる
 シーリム カリマス殿下。

カリマス 皆さん、お引きとり下さい。騎士の方々にお決め願おう。
 我々のガリー船には帆を上げたままで待機するよう伝えて下さい。 15
 恐らく、我々にはここには長く滞在することはないだろう。

さて、総督殿、どのようにお決めになりましたか？

ファーニーズ　　こういうことです、殿下の出されている条件は大変厳しく、過去10年間の貢が必要だとおっしゃる。

我々はマルタ島の住民の間からその金を募りますので、
時間を頂きたいのです。

20

第一の將軍　　そのようなことは我々の権限を越えています。

カリマス　　何ですと、カラバイン殿、少しは礼儀を弁えなさい！

その時間を聞かせてもらおう、恐らく、長くはないと思うが。

強制的に条件を押し付けるよりは、平和のうちに

25

手に入れる方が王者にふさわしいのではないか。

猶予というのはどのくらいかね、総督殿。

ファーニーズ

ほんの一ヶ月程。

カリマス　　よろしい、一ヶ月の猶予を認めよう。しかし、約束は守る

よう留意して欲しい。

さあ、我々のガリー船を沖へ戻そう。

そこで我々はあなたの得られた猶予の期間を待つことにしよう。

30

貢については使者をよこします。

御機嫌よう、偉大な総督殿、勇敢なマルタ島の騎士諸君。

[カリマスと將軍たち退場]

ファーニーズ　　カリマス殿下にご幸運を。

マルタ島のユダヤ人共をここへよんで来い。

本日出頭するよう命じてなかったか？

35

第一の役人　　呼び出してあります、閣下、やって参りました。

バラバスと三人のユダヤ人登場

第一の騎士　　彼らに何とおっしゃるかお決めになりましたか？

ファーニーズ　　決めてある、では失礼——ヘブライ人共こちらへ来い。

トルコ皇帝のもとより、皇太子であられる偉大なるシーリム

カリマス殿下が到着された。

40

過去10年間の貢を徴収されるため到着された。

さて、この件は我々と利害関係があることを御承知願いたい。

バラバス　　では、閣下、閣下の末長い御安泰のために

- 奴らにそれをお払いになられたらよろしいでしょう。
- ファーニーズ 待て、バラバス、もっと深い事情がある。 45
- この10年間の貢がどれほどになるのか、
計算はしてみたが、戦争があったために
我々の蓄えを使い果たしてしまい、金策が見つからない。
そこで我々はお前たちの助けを借りたいのだ。
- バラバス 何ですと、閣下、我々は兵隊じゃありませんよ、 50
あれほどお偉い皇太子様に対してわしらに何の助けができませんよう？
- 第一の騎士 ちえっ、ジュウ、おまえが兵隊でないこと
くらい分かっている。
- お前は商人で金のある人間だ。
その金だ、バラバス、我々が欲しいのは。
- バラバス 何ですと、閣下？ わしの金ですと？
- ファーニーズ お前とその他の 55
者の金だ。
- 簡単に言えば、お前たちの間で用意してもらうのだ。
- 第一のユダヤ人 ああ、閣下、私どもは大抵貧乏なのです。
- ファーニーズ それなら、金のあるものがお前の分を余分に
出せばよい。
- バラバス あんた方の貢のために他国の人間が税を課せられる
と言うのですか？
- 第二の騎士 その他国人が富を得るために我々の許しを得て 60
いるのではないか？
- だから、その連中に金を献じさせるのだ。
- バラバス どんな風に？ あんた方と平等にですか？
- ファーニーズ いや、違う、
ジュウ、不信心者にふさわしくだ。
- 神の前に呪われて立つ
お前たちの憎むべき生活に、我々が苦しんできたために
こんな税や苦悩が降りかかってきたのだ。 65
それだから、我々は次のように決定した。
布告の条文を読みあげろ。
- 役人 (読む) 第一、トルコ国への貢の金はすべてユダヤ人の間から

徴収されるべきこと。ユダヤ人は各々、その資産の二分の一を支払うべきこと。

70

バラバス　ほう、資産の半分ですと？　わしのものじゃないように。
[傍白]

ファーニーズ　続けろ。

役人　(読む) 第二、支払いを拒否するものは直ちにキリスト教徒となるべし。

バラバス　ほう、キリスト教徒に？　ふうむ、どうしたものかな？
[傍白]

75

役人　(読む) 第三、これを拒否するものは全財産を没収されるべし。

三人のユダヤ人　おう、閣下、半分ずつ出します。

バラバス　何て意気地の無いろくでなしどもだ、ヘブライ人
とは言えないぞ！

お前らは卑劣にも奴らの裁定にひれ伏して
自分の財産を投げ出そうというのか？

80

ファーニーズ　おい、バラバス、お前は洗礼を受けるのだから？

バラバス　どういたしまして、総督閣下、わしは改宗なんて
しませんよ。

ファーニーズ　じゃあ、半分を支払え。

バラバス　何ですって、あんたはこの企みでなにをしたのか
分かっているのかね？

85

わしの財産の半分は市の富ですよ。

総督閣下、簡単に手に入れたものではありませんよ。

だから、そう簡単にはお別れしたくもありませんね。

ファーニーズ　いいか、半分は布告通り罰金だ。

それを支払うか、さもなければ全部没収する。

90

[ファーニーズの身振りで役人たち退場]

バラバス　おう、神様！　待って下さい！　どうか半分を
取って下さい。

わしの仲間たちと同じように扱って下さい。

ファーニーズ　駄目だ、ジュウ、お前は布告条文を拒否した。

最早取り消すことはできない。

バラバス　じゃあ、あんたはわしの財産を盗もうといわれるのか？　95

盗みがあなたがたの宗教の土台ってわけですか？

ファーニーズ　いや違うぞ、ジュウ、われわれは特にお前の
ものを没収するのだ、

大勢のものの破滅を救うためにだ。

一人の人間のために多勢のものが滅びるより

一人の人間が公共の利益のために困窮するほうがよい。　100

しかし、バラバス、われわれはお前を追放したりはしない。

お前が富を手に入れたこのマルタ島に

これからもずっと暮らし、できるならもっと富を手に入れる
がよかろう。

バラバス　キリスト教徒め、わしが何をどうして殖やすことが
出来るというのだ？

無からは何も生まれはしませんよ。　105

第一の騎士　お前はその無から、始めは僅かな富を、
僅かからもっと多くを、それから莫大な富を手に入れた。

お前の最初の呪いがお前の頭の上に重くのしかかり、

お前を一文なしにし、世間の物笑いにしようとも、

それはお前の過ちではない、お前の生得の罪のせいだ。　110

バラバス　何ですと、あんたは自分の過ちを確認するために
聖書を引っ張り出すのですか？

お説教をしてわしから財産を奪うのは止めてもらいたい。

ユダヤ人にもろくでなしはいる、キリスト教徒がみんな
ろくでなしなのと御同様に。

だが、たとえわしがその子孫となっているユダヤっていう

種族が罪のためにみんな揃ってほうり出されようとも、　115

そいつらの罪のためにどうしてわしが裁かれにゃあならんのだね？

正しい商いをしている人間は当然生きていけるんだ。

あんたがたのうちに、そうじゃないとわしを責めることの
できる人間がいるのかね？

ファーニーズ　出て行け、薄汚いバラバスめ！

われわれがお前の商売を知らないと言っても言うように、　120

自分をそんな風に正当化して恥ずかしくはないのか？
 もしお前がお前の正義に頼ろうというのなら、
 辛抱しろ、そうすればお前の富も殖えるというものだ。
 富の持ち過ぎは貪欲の元だ。

そうして、貪欲とは、ああ、恐るべき罪なのだ。

125

バラバス さようです、だが盗みというのはなお悪いもんだ。

ちえっ、それじゃあ、わしから取り上げ
 たりしないでくれ。

そういうのが盗みっていうんだ。もしこんな具合に

わしから奪おうと言われるなら

わしの方でも無理にも盗みをし、余分に手に入れなければ

なりませんまい。

第一の騎士 偉大な総督閣下、こんな奴の喚きにお耳をお貸しになる
 ことはありません。

奴の住まいを尼寺に変えてしましましょう。

130

奴の家なら大勢の尼さんたちを住ませられましょう。

ファーニーズ そうしよう。

役人たち登場

さて、役人ども、すませできたか？

第一の役人 はい、閣下、バラバスの家具や商品を取り上げて

やりました。見積もってみますと

マルタ島の全財産以上の額になります。

135

他の連中からは半分ずつ取り立てました。

ファーニーズ では、その他のことについて整理をしよう。

バラバス さて、そこで、閣下、どうです、御満足でしょうか？

あんたはわしの商品、わしの金、わしの財宝、

わしの船、わしの貯え、そしてわしの喜びのすべてを

手に入れなすった。

140

なにもかも取り上げなすったからには、これ以上何も

要求できませんまい。

あんたの情け容赦のない冷たい心が、あんたのその石の

ような胸にある哀れみの情をすっかり押さえつけてしまい、
今度はわしの命を奪えと言うなら別でしょうが。

ファーニーズ いや、バラバス。この手を血で汚すなぞ 145

思いもよらぬことだし、そんなことは我々の役目でもない。

バラバス いやいや、わしは悲惨な人間の命を取るほうが
その人間の悲惨の原因となるよりは
遙かに害が少ないと思えますけどね。

あんたはわしの生涯の骨折りであり、老年の楽しみ、子供 150
らの希望である、わしの財産を奪った。

だから、あんたは過ちかどうかの区別もつかないんだ。

ファーニーズ 満足しろ、バラバス、お前は唯一正義を手に入れたのだ。

バラバス あんたの途方もない正義とやらがわしには

とてつもない不正をしてくれたんだ。

だが、悪魔の名にかけて、お前の正義にしがみついている。 155

ファーニーズ さあ、なかに入って、この品々のなかから
トルコへの貢になる金を集めよう。

第一の騎士 用心なさるのが肝要です。

夜が明けますと我々は同盟を破ることになりますから

それこそ愚かな政策^{ポリンイ}ということになりましょう。 160

[バラバスとユダヤ人たちはすべて退場]

バラバス そうだ、政策^{ポリンイ}だ、それこそ奴らの商売なんだ。

そいつは奴らがほのめかしていたほどには単純じゃない。

エジプトの疫病、天の呪い、

大地の不毛、すべての人間の憎しみを

奴らの上に下してください、偉大なる神よ！ 165

わしは、ここに膝をつき、大地を打ちつけ

奴らの魂が永遠の苦痛を味あうよう呪ってやる。

そうして、業火の燃える深淵の途方もない拷問を受けさせてやる、

わしをこんなにも窮地に追い込んだんだから。

第一のユダヤ人 おう、我慢なさい、優しいバラバスさん。 170

バラバス おう、何て馬鹿な連中だ、こんな日を見るために

生まれてきたわけじゃあるまいに。
 わしがこんなに嘆いているのに、どうしてお前たちは
 そんなに冷淡なんだ？
 わしがこんなにひどい目にあっているのに、どうして
 泣いてもくれないんだ？
 こんなに惨めになっても、糞れも、死にもしないなんてこと
 がどうしてあるんだ？

第一のユダヤ人 いや、バラバスさん、こんな残酷な仕打ちを
 175
 受けて我々も我慢できません。

御覧のように我々も持ち物の半分を取り上げられたんです。
 バラバス あんたたちはどうして奴らの強奪に屈したのだ？
 あんたらは大勢だが、わしはたったの一人だ。
 それに、奴らはわしからだけ全部を取り上げたんだ。
 180

第一のユダヤ人 だが、兄弟バラバスさん、ヨブのことを思い
 出してごらんなさい。

バラバス なぜ、わしにヨブのことなんか話すんだ？ 彼の財産が
 こんな風にかかれて知っているよ、彼は7000頭の羊、
 3000頭のらくだ、労働用牛のくびき200、
 500頭の雌ろばを持っていたとね。
 185

だが、その一つ、一つに対して、
 わしが家にもっていたもの、わしの大商船団や、
 近ごろエジプトから戻った他の船の中にあるものを
 掛け値なしに値をつけてみればどうだ、
 ヨブの家畜も、ヨブ自身も買い取っても、
 190

なおかつ、食って行ける程たっぷりあるんだ。
 だから、この世に生まれた日、運命の日を呪うのは
 ヨブじゃなくて、このわしなんだ、惨めなバラバスよ。
 そしてこれからは永遠の夜の訪れを願うのだ、
 暗黒の雲がわしの体を包み、このとてつもない悲しみを
 わしの目から見えないようにしてくれ。
 195

わしはただこの世で、わしに約束された空しい月日、
 時の浪費、苦悩の夜を受け継ぐために
 苦勞をしてきただけなんだ。

第二のユダヤ人 善良なバラバスさん、我慢をなさい。 200

バラバス 分かった、分かった、お願いだから一人っきりで
我慢をさせてくれ。

財産を持ったこともないお前たちは無一物が楽しいだろう。
だが、戦場で敵兵の真っ只中であって、兵士たちは殺され、
自分自身も武器を奪われて、

立ち直る術すべもしらぬという者にゃあ、 205

せめて悲しむだけの自由を与えてやってくれ。

そうだ、この突然の悲運を嘆き悲しませてくれ。

心が乱れてこんなことを言っているんだ。

大きな打撃はそう簡単には忘れられるもんじゃない。

第一のユダヤ人 さあ、彼を一人にしてあげましょう。 210

あんなに怒っているのでは、われわれの言葉は火に油を
注ぐようなものでしょう。

第二のユダヤ人 じゃあ、そうしましょう。しかし、本当のところ、

あんなに苦しんでいる人を見るのは辛いことだ。失礼しますよ、
バラバスさん。

[ユダヤ人たち退場]

バラバス ああ、じゃあな。

この卑怯な奴隷どもの単純振りを見てみろよ。 215

あいつらは——悪党どもなんぞはもともと知恵なんて持ちゃあ

いないんだ——わしを、どんな水でも水をかけられりゃあ

泥になってしまう無感覚な土くれに過ぎないと思っている。

いやいや、バラバスはもっと幸運に生まれついているんだ。

目先のことでしか判断のできない並の人間より 220

立派なもので出来ているんだ。

先を見通す考えが底知れぬ才知を求めて

奸計をもって来たるべき時に備えるものだ。

なにしろ災難なんてやつは毎日でも起こり易いものなんだ。

だが、わしの美しいアビゲイルはどこに行ったんだ？ 225

ユダヤ人の娘、アビゲイル登場

おう、わしの愛する娘は何故悲しんでいるんだ？

どうしたんだ、娘さん！ 僅かばかりの損で泣くものじゃない。

お前の父さんはお前のために十分に蓄えているんだから。

アビゲイル わたしのために泣いているんじゃないの、年をとったお父さんのためによ。

お父さん、アビゲイルはあなたのために悲しんでいるのよ。 230

でも、こんな無駄な涙なんか流すのはもう止めるわ。

そして、この苦しみに追い立てられて

元老院へ走って行くわ。

そこで、皆を咎めてやるわ。

髪の毛をかきむしりながら、あの人たちの心を引き裂いて 235

やるわ。お父さんにした酷い仕打ちを軽くしてくれる迄は。

バラバス いや、アビゲイル、回復の見込みのないことは

どんなに叫んでみても治りはしない。

静かにしていなさい、娘よ、忍耐は安らぎをもたらすものだよ。

時というものは、早急には、都合よく助けてはくれないが、 240

やがては好機を与えてくれるものだ。

それに、わが娘よ、わしがお前やわしのために

何の準備もしないで、無頓着にあれ程の財産を

捨ててしまう程のうつけだなんて考えないでおくれ。

大きな真珠、高価な宝石、無数の貴石の他に 245

一万枚ものポルトガル金貨を

最悪の事態に備えて

前以てこっそり隠してあるんだ。

アビゲイル どこに、お父さん？

バラバス 家の中にだよ、わが娘よ。

アビゲイル それじゃあ、それはもう二度とバラバスの目に
触れることはないわ。 250

家も品物もあの人たちに押さえられてしまったもの。

バラバス だが、わしがもう一度あの家に入る位は

許してくれると思うがね。

アビゲイル

駄目だと思わ。

だって、総督さんがわたしを追い出して、尼さんたちを
あの家に入れたけれど、わたしには、どうにもならなかったし、
あの人たちはあの家を尼寺にするつもりよ。そこには
あの人たちの宗派の人以外は誰も入れないし、男性は誰も
入れないわ。

255

バラバス

わしの金貨、わしの金貨、そしてわしの全財産は
なくなってしまった。

汝、不公平な天よ、わしはこんな災難を受けなければ
ならないというのか？

汝、不運をもたらす星よ、何故このようにわしに逆らい、
わしを貧窮に陥れ、絶望させるのだ？

260

わしがこの悲しみに耐えられんと考えて、
わしがこの地上から大気の中へ消えてしまい、
かつてはこの地上にいたという痕跡さえも残さないように
首吊りでもしてしまう程狂っていると思うのか？

265

いや、わしは生きるぞ、このわしの人生を忌み嫌ったり
もしないぞ。

お前はわしをこのように大海原の真っ只中に、沈むも、
泳ぐも、お前の勝手とばかりに置き去りにしてしまったのだから、
わしも五感を奮い立たせ、目を覚ますぞ。

娘よ、わしもやられたよ。お前は、キリスト教徒らがわしを
抑えつけ、こんな苦境にたたせたのをはっきり見たね。

270

わしの言い付けを聞きなさい。窮地に陥った時には
どんな策略ポリシイを使ってもかまいやしない。

アビゲイル

お父さん、私たちにこんなにも酷いことをした
人たちをやっつけるためならば、どんなことにしろ
アビゲイルに出来ないことなどあるかしら？

275

バラバス

そうだと、

では、こうだ、お前は奴らが我が家を尼寺にしたと言ったな、
尼さんも何人かいると言ったな？

アビゲイル

その通りよ。

バラバス

では、アビゲイル、お前は院長さんに

お願いして、是非ともそこでお勤めができるようにしなけりゃ
ならん。 280

アビゲイル どういう風に？ 尼さんになって？

バラバス その通りだ、
娘よ、宗教ってものは数々の悪事を疑惑から隠してくれる
ものなんだから。

アビゲイル ええ、でもお父さん、そこに私がいたら
変に思われるわ。

バラバス 思わせておけ、だが、お前は奴らが、信仰心でして
いるんだと思うくらい敬虔に振る舞うんだ。 285
まことしやかに嘆願し、親しみを込めて話しかけ、
お前の罪はいかにも深いというように見せかけるんだ。
そうすりゃあ、お前を迎え入れるようになるだろう。

アビゲイル お父さん、こんな風に、大いに猫を被って見せるわ。
バラバス ちえっ！

心にもないことを真実らしくみせるのは、 290
最初は真実でも後になって偽るのと同じことだ。
偽りの告白のほうが
人目につかない偽善よりましなんだ。

アビゲイル では、お父さん、私がお勤めできるようになったら
次はどうすればいいの？

バラバス その後はこうだ、 295
二階の部屋の床板のすぐ下に
お前のために残しておいた
金貨と宝石があるんだ。
そら、奴らが現れた。うまくやれ、アビゲイル。

アビゲイル では、お父さん、一緒に行きましょう。

バラバス いや、アビゲイル、 300
このことじゃあ、わしは人目についてはまずい、
このことで、わしはお前に腹を立てているように見せるから。
ばれないようにな、娘よ、わしの金を取り戻すためだから。

[二人後方に退く]

修道士ジャコモ, 修道士バーナダイン, 尼僧院長, 尼僧登場

修道士ジャコモ　みなさん,

私たちは新しく出来た尼寺にどうやら着いたようです。 305

尼僧院長　ますます結構なことです, 私たちは人に見られ
たくありませんから。

私たちのうちの何人かが遙か遠く一般世間の人々のなかへ
迷い入ってしまってから30年の歳月が流れました。

修道士ジャコモ　しかし, 院長さま, この家と
この新しく出来た尼寺に水があることは, 院長さまに 310
大いにお喜びいただけるものと存じます。

尼僧院長　そうですね。どなたかおいでになりましたよ?

[アビゲイル前に出る]

アビゲイル　気高い院長さま, そして幸せな処女をお導き
下さる皆様方,

嘆き悲しんでおります娘をお^{あわれ}憐憫みください。

尼僧院長　あなたはどなたです, 娘さん? 315

アビゲイル　不幸なユダヤ人の不運な娘でございます。

マルタ島のユダヤ人, 惨めなバラバスの娘です。

かつては立派な家の持ち主でしたが

今では尼寺に変えられてしまいました。

尼僧院長　で, 娘さん, 言ってごらんなさい。あなたの願いとは
どんなこと? 320

アビゲイル　父も感じていることですが, 私たちの罪の深いこと,
信仰心のないことから起こる苦しみが恐ろしくなりました,
これからの一生を悔い改めの中に過ごし,
あなた様の尼寺の見習い尼僧にさせていただき, 悩み苦しみと
闘っている私の魂に贖罪をさせていただきたいのです。 325

修道士ジャコモ　疑うまでもなく, 君, この言葉は魂からのものだよ。

修道士バーナダイン　全くだ, それに心情溢れるばかりの魂
からのものだよ, さあ, 君,

あの娘がお勤めできるようにお願いしてあげよう。

尼僧院長　では、娘さん、尼になることを許しましょう。

アビゲイル　まず見習い尼僧として私の孤独な暮らしを、あなた方
330
の厳格な戒律に合わせていきますようお導き下さい。
そして、私がいつも寝すんでおりました部屋に住まわせて下さい。
あなた様方のお教えと私自身の努力によりまして、
得るところが大であると疑いません。

バラバス　わしが隠しておいたものだけはね。 [傍白] 335

尼僧院長　さ、ついていらっしゃい、娘さん。

バラバス　(前に出て)　おい、どうした、アビゲイル！

お前は どうしてこのいまましいキリスト教徒らの中にいるんだ？

修道士ジャコモ　彼女の邪魔をするな、不信心者め、
彼女は この世を捨てたのだ。

バラバス　何！ 世を捨てた！ 340

修道士ジャコモ　そして、尼僧の仲間に入れて頂いたのだ。

バラバス　罰当たりめ、父親の恥さらしめ、
お前は このいまましい悪魔の仲間入りをして、何を
しようというのだ？

天のお恵みにかけて、お前に命令する、こんな悪魔や
こいつらの地獄堕ちの宗教なんか捨ててしまえ。

345

アビゲイル　お父さん、許して——

バラバス　駄目だ、戻れ、アビゲイル！

そして宝石や金貨のことを考えろ。

覆^{かぶ}せてある板の上にはこう書いてある、[彼女にささやく]

行ってしまえ、呪われた娘め、父の目の届かぬところへ！

修道士ジャコモ　バラバス、たとえお前が誤った信仰を持ち、
350
お前自身の苦悩が分からないとしても、
お前の娘をこれ以上盲目にしておいてはならない。

バラバス　盲目だと、修道士さん？ お前の説教なんて聞く耳
もたぬ——。

覆^{かぶ}せてある板にはこう記してあるよ、 [娘に傍白]

娘のこんな姿を見るなら死んだほうがましだ。

355

お前までが悲嘆に沈んでいる父親を見捨てると言うのか、

たぶらかされた娘よ？ 行け、忘れるな。 [彼女へ傍白]

こうも騙され易いのがユダヤ人だということか？

明日の朝早く戸口に行くからな。 [彼女へ傍白]

駄目だ、来るな、お前が地獄へでも堕ちたら、 360

わしのことなど忘れてしまえ。会ってくれるな、さあ、

行ってしまえ。

さようなら、明日を忘れるな。 [彼女へ傍白]

行け、行け、恥知らずめ！

[一方よりバラバス退場、反対側より他の者たち退場]

それと同時に

マサイアス登場

マサイアス これは誰だ？ 美しいアビゲイルが、金持ちの
ユダヤ人の娘が、

尼になった？ 父親の突然の没落のために 365

失意落胆して、こんなことになってしまったんだ。

ちえっ、お祈りで疲れ果てるよりは

恋の物語でもした方がよく似合うし、

真夜中に起き上がって厳かにミサをするよりは

優しい恋人の腕に抱かれて 370

ベッドにいる方が遙かに似つかわしいのに。

ロドウィック登場

ロドウィック やあ、どうしました、ドン マサイアスさん、
ふさぎこんで？

マサイアス 気高いロドウィックさん、私の考えでは、

今まで見たこともないような

不思議な光景を見たのです。

ロドウィック それは一体何なのですか？ 375

マサイアス 14歳になるやならずの若い美しい娘、

シシリヤの野に咲くこの上もなく美しい花のような娘が、

実り豊かな大地の歓喜のなかから刈り取られ、
不思議にも尼に変身してしまったのです。

ロドウィック　だが、一体、その女の人って誰なんですか？

マサイアス　そりゃあ、
あの金持ちのユダヤ人の娘ですよ。

380

ロドウィック　何だって？　この間財産を没収された、あの
バラバスの？

そんなに美しい娘なのかい？

マサイアス　比類のない美しさなのだ。

君だって、一目彼女を見れば恋心を、もつとも、真鍮の
壁で二重に守られています、少なくとも、不憫なと思う
気持ちを動かされますよ。

385

ロドウィック　その娘さんがあなたの言われるようにそんなに
美しいなら、
彼女を訪ね、お目にかかるのは時間を有効に使うと
いうことですよ。

どうです？　行って見ましょうか？

マサイアス　行かなきゃなりませんし、行きますよ、君、他に
どうする術もないのですから。

ロドウィック　じゃあ、私も行くことにしよう、でなきゃ、悩む
ことになりますから。

390

それでは失礼、マサイアスさん。

マサイアス　失礼します、ロドウィックさん。

[二人退場]

注

Text : The Huntington Library copy of the 1633 quarto
(The Complete Plays of Christopher Marlowe,
edited. with an Introduction and Notes
by Irving Ribner ; The Odyssey Press. INC,
New York に収録)

この芝居への PROLOGUE 及び EPILOGUE は1632年に宮廷において上演された際に
Thomas Heywood が付したものである。なお Heywood はグレイ法学院の

Thomas Hammon あての献辞をも記している。

The Prologue to the Stage

- line. 2. 最高の詩人 1633年の *quarto* の余白に “Marlo” の名が出ている。
 4. 名優の誉れ高い役者 同上に “Allin” の名が出ている。
 5. 『ヒーローとリアンダー』 Marlowe 作の未完の長編物語詩。
 9. プロテウス 姿をさまざまに変える能力と予言力を持つ海神。
 ロスキウス 有名なローマの喜劇役者 (C 126-C 62 B. C.)
 12. 役者 1633年 *quarto* に “Perkins” と出ている。これは Queen Henrietta's Men の有力な役者 Richard Perkins のことである。

Epilogue to the Stage

- line. 1. ピグマリオン キプロスの王。彫刻が巧みで、自作の乙女像に恋をし、これに命を与えて欲しいとヴィーナスに願った。彼の祈りは聞き入れられ、ガラティアと呼ばれる女性になった。
 2. アペレス アレキサンダー大王時代のギリシャの画家。(360?-315? B. C.)

Prologue

- line. 1. マキァヴェリ Niccolo Machiavelli, フローレンスの政治家, 政治学者。(1467-1527) その説は、当時、一般には歪曲されて伝わり、マキァヴェリの名は権謀術数の代名詞のように使われた。マーローもこのような解釈に基づいて作品を書いている。
 3. ギーズ Henry of Lorraine, Third Duke of Guise (1550-1588) 1572年、聖バーソロミュー前夜のユグノー大虐殺の中心人物, 1588年、フランス王アンリ三世によってプロアの古城で暗殺された。マーローは彼を主人公にして、『パリの虐殺』を書いている。
 20. ドレイコ B. C. 624年頃のアテネの立法家。その厳しいことで知られている。
 24. ファラリス B. C. 570-554年の頃のシシリー島の暴君。類を見ない残酷さで知られる。彼は真鍮の牛の像にいけにえをきたまま入れ、焼き殺したが、後に自分もまた、その像に入れられて焼き殺されたと伝えられている。

第一幕、第一場

- line. 4. サムナイト人 恐らく、かつて中央イタリアの山岳地帯に住んでいたと言われる人たちであろう。
 5. アズ人 パレスチナの聖地に住んでいたと伝えられる種族。マーローはこれらの名称を地理的な観点からではなく、遠い異国の情緒を思わせることで用いているのであろう。
 39. かわせみの嘴 死んだかわせみの体を吊しておく、風に吹かれるままに向きを変えるので風見の役に使われた、という言い伝えがある。
 104. 昔々のアブラハム様のお喜び 旧約聖書、創世記第15章14節、18節、及び第17章8節を参照。
 135. アガメムノン トロイ戦争の時のギリシャの将軍。イタリアに向かう途中、アウリス港に停泊していた時に誤って狩猟の女神アルテミスの猟犬を射殺してしまった。彼は女神の怒りを鎮めるために最愛の娘、イフィゲネイアを海

に投じた。彼女は女神に助けられ、その神殿の巫女となった。

187. Ego mihimet sum semper proximus. = I am always closest to myself.

第一幕, 第二場

line. 1. 将軍たち bassoes = bashaws, トルコの文武高官に対する称号。

マルタ島の騎士 中世時代の聖ヨハネの騎士団。十字軍時代に勢力をふるい、1522年にトルコ皇帝ソリマン二世に攻略されるまでロードス島にその本拠をおいた。1530年にマルタ島に移ったが、1798年ナポレオンに征服された。

91. Corpo di Dio ! = body of God !

99-100. 一人の人間の…するほうがよい。 新約聖書ヨハネ傳第11章50節を参照。

108. 最初の呪い イエスが十字架に架けられた報いとして、ユダヤ人が罰を受けるといふ考え。新約聖書マタイ傳第27章を参照。

181. ヨブのことを…ごらん下さい。 旧約聖書ヨブ記第1章3節を参照。

197-199. わしはただこの世で…だけなんだ。 ヨブ記第7章3節を参照。

377. シシリヤの野に咲く…。 シシリヤは愛の女神、ヴィーナスのこと。